

# 平成

## を振り返る ～四日市の31年～

1989年1月7日  
「平成」  
スタート

5月1日、新天皇の即位に伴い、平成に変わる新しい元号が始まります。平成の31年間には、さまざまな出来事がありました。今回は、四日市市の「平成」の主な出来事を取り上げながら、市の歴史を振り返ります。

●地デジ12ch(CTY)  
●4月21日(祝)～30日(日)に放送  
月・水・金・日曜日 9:30、20:30  
火・木・土曜日 12:30、20:30

ちゃんねる  
運動



### 平成年表

#### 世界や日本の主な出来事

#### その年の流行語

#### 市内の主な出来事

- 消費税(3%)始まる
- ベルリンの壁崩壊(ドイツ)

平成元年  
(1989)

オバタリアン

- 市役所の市政情報室を設置、情報公開制度がスタート
- 市営中央駐車場が完成
- 四日市工業高校跡地の開発がスタート



工業高校跡地

- 第1回大学入試センター試験実施
- 大阪で「国際花と緑の博覧会」(花博)開催

平成2年  
(1990)

ちびまる子ちゃん  
現象

- 現・(財)国際環境技術移転研究センター(ICETT)設立
- 総合会館が開館



総合会館の外観は「緑の帽子に茶色の背広」と言われたんだって



- 信楽高原鉄道列車追突事故
- 雲仙・普賢岳で大火砕流発生

平成3年  
(1991)

…じゃあ～りませんか

- 四日市工業高校跡地にアムスクエアが完成
- ケーブルテレビによる市政情報番組が放送開始



アムスクエア店内

- 東海道新幹線「のぞみ」運行開始
- 日本人初の宇宙飛行士(毛利衛さん)がスペースシャトルで宇宙へ

平成4年  
(1992)

うれしいような  
かなしいような

- 全国高校サッカー選手権大会で四日市中央工業高校が優勝
- オープンバザール四日市を平成4年4月4日に開催



優勝パレード

#### 世界や日本の主な出来事

#### その年の流行語

#### 市内の主な出来事

- プロサッカーリーグ「Jリーグ」開幕
- 北海道南西沖地震

平成5年  
(1993)

Jリーグ

- 市立博物館(プラネタリウム)が開館
- 四日市港に客船「飛鳥」が初入港



博物館開館式典

- 松本サリン事件
- 関西国際空港が開港

平成6年  
(1994)

同情するなら  
カネをくれ

- 茶室「洒翠庵」が完成
- 第9回国民文化祭(みえ'94)を開催
- 中央緑地第2体育館が完成

UNEP(国連環境計画)が、持続可能な開発の基盤である環境の保護および改善に功績のあった個人または団体を表彰する制度。四日市市では「できることから始めよう」を合い言葉に、環境保全活動を継続しているんだ。



グローバル500賞



- 地下鉄サリン事件
- 阪神・淡路大震災

平成7年  
(1995)

がんばろう  
KOBE

- 市と加藤寛嗣市長がグローバル500賞を受賞
- 北勢地方に大雪。四日市測候所では開設以来最高の積雪53cmを記録

- 国内初の検索エンジン「Yahoo! JAPAN」サービス開始
- 腸管出血性大腸菌(O-157)による大規模食中毒が発生

平成8年  
(1996)

メークドラマ

- 四日市旧港湾施設(潮吹き防波堤)が国の重要文化財に指定
- 「海の祭典」帆船フェスティバルを開催
- 本町プラザが完成
- 移動天文車「きらら号」運行開始
- 井上哲夫市政スタート



港に停留する帆船

- 消費税率が5%に引き上げ

平成9年  
(1997)

失樂園(する)

- 市制100周年
- 四日市ドームが完成
- 地下駐車場くすの木パーキングが完成
- こにゅうどうくん誕生



市制100周年記念祭典

ボクだ!



100周年ロゴ

- 冬季長野オリンピック・パラリンピック開催
- 明石海峡大橋が開通(世界最長のつり橋)

平成10年  
(1998)

だっちゅーの

- ばんこの里会館が開館
- 末広橋梁が国の重要文化財に指定



末広橋梁

世界や日本の主な出来事

その年の流行語

市内の主な出来事

- ユーロ圏単一通貨「ユーロ」登場
- 政府が「地域振興券」(2万円の商品券)を子ども・高齢者に支給

平成11年 (1999)

ブッチホン

- ヘルスプラザが開館
- 四日市港開港100周年
- 四日市港ポートビルが完成
- 現・なやプラザが開館

四日市港ポートビル

14階建てで、高さは地上100m。実は、三重県内で最も高いビルなんだ。



- BSデジタル放送開始
- 第26回主要国首脳会議(九州・沖縄サミット)開催

平成12年 (2000)

おっはー

- 垂坂公園・羽津山緑地が完成
- 東海豪雨(多数の家屋に床上・床下浸水)
- 四日市市が「特例市」に移行
- 病児保育室(カンガルーム)を設置

- 同時多発テロ事件(アメリカ)
- 国内初の狂牛病(BSE)確認

平成13年 (2001)

聖域なき構造改革

- 「子ども虐待防止ホットラインよっかいち」を開設
- 東海道400周年記念事業を開催

利用者の減少によりバス路線が廃止されたことを受け、地元自治会が中心となり、地元企業などからの協賛金や、沿線住民の応援によりバス路線の維持に取り組まれているよん。



生活バスよっかいち

- EU域内の12カ国が通貨を「ユーロ」に統合
- 公立の小・中・高校が毎週土曜日を休む「完全学校週5日制」に

平成14年 (2002)

タマちゃん

- 生活バスよっかいち運行開始
- 四日市けいりんデーナイター競輪を開始

- 新型肺炎[SARS]がアジアを中心に世界的に大流行
- 地上デジタルテレビ放送が東京、大阪、名古屋で開始

平成15年 (2003)

なんでだろ～

- 四日市・楠町合併協議会を設置
- すわ公園交流館が開館
- 男女共同参画都市を宣言

大矢知町にある飛鳥時代から平安時代に及ぶ朝明郡の役所跡で、国史跡に指定されているよん。国道1号北勢バイパスの建設に伴い、その事前調査によって確認されたんだ。



上空から撮影した久留倍遺跡

- 新紙幣発行(1万円札=福澤諭吉、5000円札=樋口一葉、1000円札=野口英世)
- 新潟県中越地震

平成16年 (2004)

チョー気持ちいい

- 久留倍遺跡で遺構を発見
- アジア自転車競技選手権日本大会を開催
- 市長選挙で電子投票を実施

- 中部国際空港が開港
- 愛知県で「愛・地球博」(愛知万博)が開催
- JR福知山線脱線事故

平成17年 (2005)

想定内(外)

- 楠町と合併
- 楠歴史民俗資料館開館
- 上下水道局を設置



四日市市・楠町合併記念式典

四日市市と楠町は、将来、「三重県をリードする中核都市」になることを目指して、合併により30万都市を形成したんだ。平成17年2月7日、新しい四日市市がスタートしたよん。



世界や日本の主な出来事

その年の流行語

市内の主な出来事

- SNS[Twitter][Facebook]サービス開始

平成18年 (2006)

イナブウアー

- 四日市港霞ヶ浦地区北埠頭海上コンテナターミナル完成・供用開始
- 楠ふれあいセンター(ゆめの木)開館
- 博物館に丹羽文雄記念室を開設

高度な専門性と豊かで温かい人間性をもった保健師・助産師・看護師の育成を目指し、四日市市、市立四日市病院、暁学園との公私協力方式により設立された大学だよん。



四日市看護医療大学



- 郵政民営化

平成19年 (2007)

どげんかせんといかん

- 四日市看護医療大学が開校
- 産業廃棄物不適正処理事案(大矢知・平津)に対し三重県が措置命令を発出

- リーマンショック
- 第34回主要国首脳会議(洞爺湖サミット)開催

平成20年 (2008)

アラフォー

- 県内初の保健所政令市へ移行
- 中消防署中央分署が開署
- 市制111周年
- 田中俊行市政スタート

中消防署中央分署



- 裁判員制度による初の裁判
- 日本の総人口が減り始める

平成21年 (2009)

政権交代

- 近鉄富田駅西口駅舎および駅前広場の完成



近鉄富田駅西口駅舎

鯨船行事にちなみ、クジラをイメージしたデザインなんだ。

- 小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶりに地球に帰還

平成22年 (2010)

ゲゲゲの～

- 四日市市・天津市友好都市提携30周年
- 市の鳥「ゆりかもめ」をデザインした市独自のナンバープレートの交付を開始(原動機付自転車および小型特殊自動車)
- 博物館で小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルを展示



ゆりかもめナンバープレート

- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)
- 地上波テレビのアナログ放送が終了。地上デジタル放送に完全移行

平成23年 (2011)

なでしこジャパン

- 全国工場夜景サミット in 四日市を開催
- 津波避難マップを作成、全戸配布

全国工場夜景サミット in 四日市



- 東京スカイツリーが開業

平成24年 (2012)

ワイルドだろお

- 第1回全国ファミリー音楽コンクール inよっかいちを開催
- 第1回四日市JAZZフェスティバルを開催
- 霞★ゆめくじらが完成

霞★ゆめくじら



- 高知県四万十市が国内観測史上最高気温41.0度を記録

平成25年 (2013)

今でしょ!

- JAXA(宇宙航空研究開発機構)と宇宙教育活動に関する協定を締結し、連携事業を実施
- 市立四日市病院の病棟増築・改修を終え、全面供用開始
- 四日市市・ロングビーチ市姉妹都市提携50周年



県内で初めてJAXAと協定を締結

- 消費税率が8%に引き上げ
- 御嶽山が7年ぶりに噴火

平成26年 (2014)

ダメよ〜ダメダメ

- コンビナート夜景クルーズ乗船1万人突破
- 四日市あすなろう鉄道株式会社が設立

公有民営方式で運行するナローゲージ。地域・交通事業者・行政が一体となって守り継いでいる、かけがえのない交通手段だよん。



- 北陸新幹線開業
- マイナンバー制度開始

平成27年 (2015)

爆買い

- 四日市あすなろう鉄道運行開始
- そらんぼ 四日市リニューアルオープン



市立博物館 時空街道



四日市公署と環境未来館

- 北海道新幹線開業
- 熊本地震
- 18歳選挙権施行
- 第42回先進国首脳会議(伊勢志摩サミット)開催

平成28年 (2016)

神ってる

- 四日市市クリーンセンターが稼働
- プラネタリウムが世界一に認定
- 三浜文化会館が開館
- 鳥出神社の鯨船行事がユネスコ無形文化遺産に登録
- 森智広市政スタート



祝 ユネスコ無形文化遺産登録

- 陸上男子100mで桐生祥秀選手が日本人初の9秒台を記録

平成29年 (2017)

インスタ映え

- 橋北交流会館が開館
- 南消防署南部分署が開署
- 市制120周年



市制120周年 ロゴマーク



記念式典

- 大阪府北部地震
- 西日本豪雨
- 北海道胆振東部地震
- 埼玉県熊谷市が歴代最高気温を41.1度に更新

平成30年 (2018)

そだねー

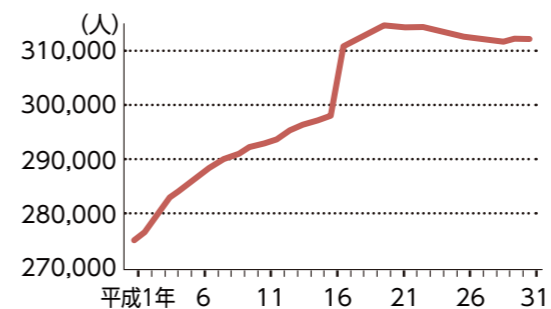
- 北消防署北部分署が開署
- 四日市市中央フットボール場、四日市テニスセンターが開業
- 外国大型客船が来港
- 四日市・いなばポートライン完成
- インターハイ開催



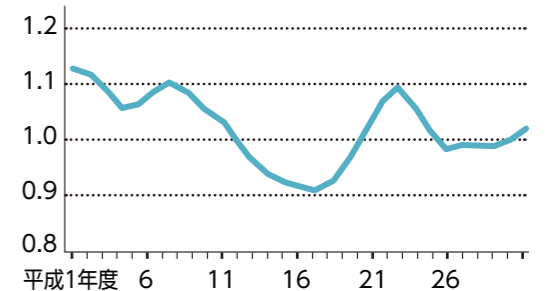
四日市・いなばポートライン開通記念ウォーキングイベント

四日市市の平成年間の移り変わり

人口推移



財政力指数推移



平成の31年の間に、本市は31万人都市となりました。財政力指数(地方公共団体の財政力を示し、1に近いほど財政に余裕がある)の推移を見ると、景気とともに変動はありましたが、近年の財政力は向上しています。「平成」の間に培ったすべてを力に、四日市市は更なる発展を目指します。

2019年(平成31年)そして——新元号へ

これからの四日市市



- 四日市港120周年(8月)
- くるべ古代歴史公園整備完了



四日市港は明治32年8月に伊勢湾で最初の開港場の指定を受け、今年8月4日で開港120周年を迎えます。2019年も「ダイヤモンド・プリンセス」などの大型客船の来港が予定されています。

2020年度以降(何月からかは未定)、四日市市内で新たに登録される自動車は、自動的に「四日市ナンバー」になります。「図柄入り(カラー)」「図柄入り(モノトーン)」「通常」から選択できます。



- 次期総合計画(2020~2029年度)開始
- B-1グランプリ開催(5月予定)
- 市制123周年
- 地方版図柄入りナンバープレート交付開始(2020年度中)



- 三重とこわか国体(9~10月)
- 三重とこわか大会(10月)



2021年に、三重県で46年ぶりに国民体育大会が開催されます。本市でも、とこわか国体では8競技10種目、とこわか大会では1競技1種目が開催されます。

今、四日市市は、経済活動が活況であり、転入人口が増加ってきていて、とても元気な状態です。今が飛躍する大きなチャンスです。県内で存在感を示していくことも大事ですが、三重県という枠を飛び越えて、いかに東海エリアで西の拠点として頑張っていくかというところを、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

間もなく新元号です。引き続き、「31万人元気都市」を目指して四日市市は突き進んでいきます。



市長 森智広